

# 令和7年度 第2回 大井川水系流域委員会 【最近の河川事業を取り巻く話題】

令和8年3月3日

国土交通省 中部地方整備局  
静岡河川事務所

1. 『令和7年9月の台風第15号による大雨』出水概要	2
2. 内外水統合型水害リスクマップ	9
3. 大井川水系流域治水プロジェクト2.0	13

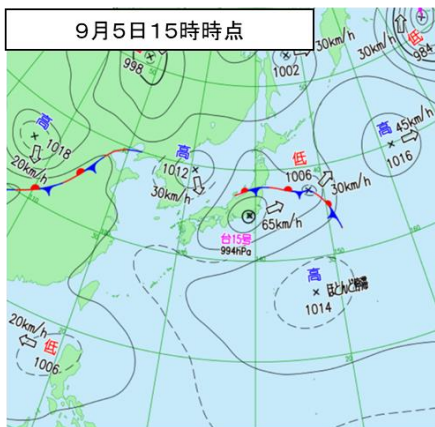
# 1. 『令和7年9月の台風第15号による大雨』出水概要

# (1) 令和7年9月4日～9月5日の大雨による気象概況など

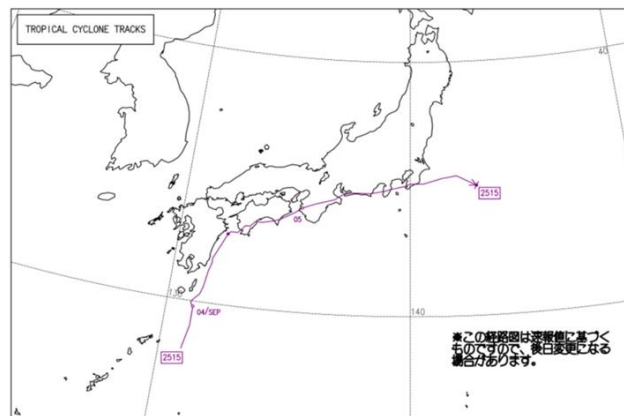
令和7年9月4日に発生した台風第15号は奄美大島の東で発生し、発達しながら北上した。4日の夜に九州に接近したあと、5日午前9時頃には和歌山県北部に再上陸し、その後、西日本から東日本へ列島を横断、静岡県や神奈川県で線状降水帯が発生したり、静岡雨量観測所にて9月4日0時から9月5日24時までの総降水量218mmを記録した。また、1時間雨量は9月5日14時に静岡雨量観測所にて80mmを記録した。

静岡県内ほぼ全域に土砂災害警戒情報が発表され、また、静岡市をはじめ多くの市町では避難指示を発令した。また、県内では竜巻も発生し、各地に大雨や突風、停電などの被害をもたらしたが、台風は、9月5日午後9時に日本の東で温帯低気圧に変わった。

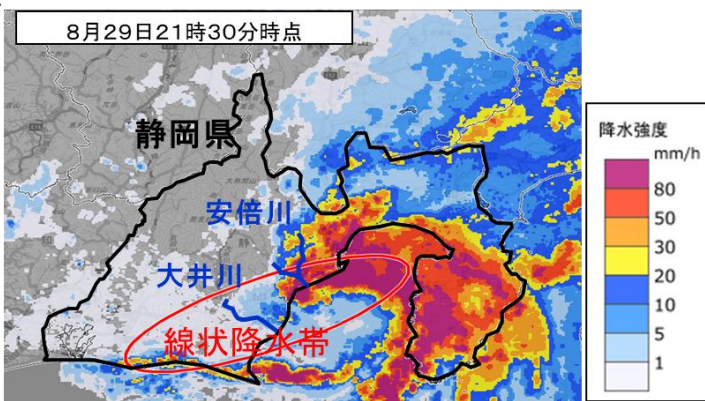
天気図  
(気象庁HP)



台風経路図  
(気象庁HP)

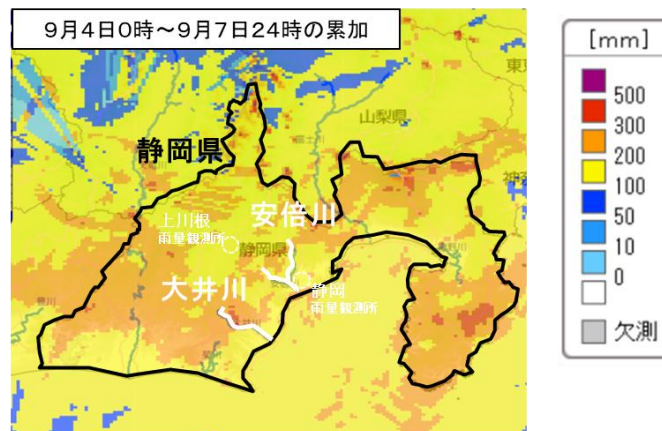


気象庁レーダ  
雨量



※速報値のため  
変更される場合  
があります。

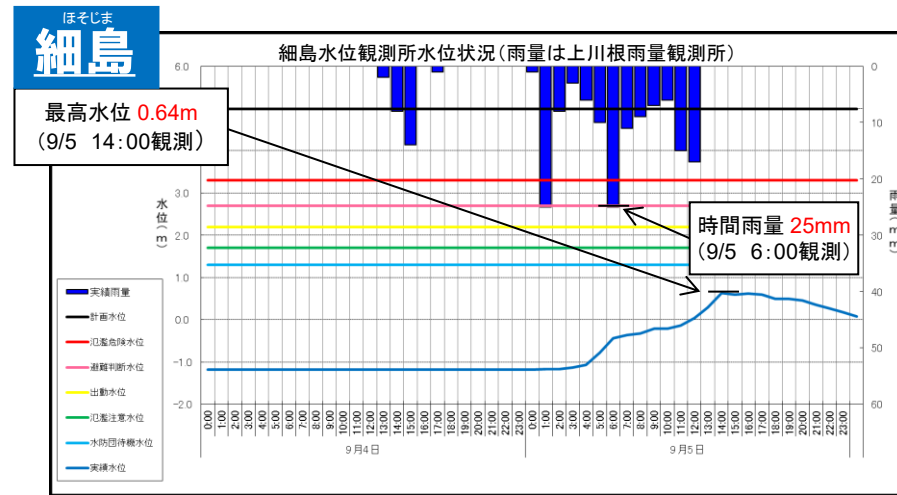
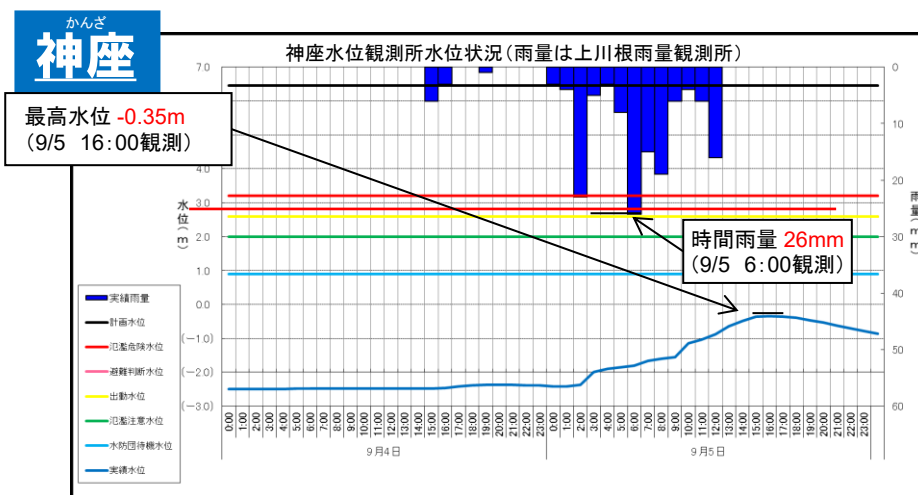
Cバンドレーダ  
累加雨量



## (2) 大井川の水位観測所 水位状況

大井川では安倍川程の水位上昇はなく、神座水位観測所および細島水位観測所では、水防団待機水位を超えなかった。

9/4 0時 ~ 9/5 24時の各水位観測所における水位の変遷は以下の通り



### <各水位観測所 ピーク時水位の整理>

河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難判断 水位	氾濫危険 水位	計画 高水位
大井川	神座	<b>-0.35</b>	0.90	2.00	2.60	2.60	3.20	6.45
	細島	<b>0.64</b>	1.30	1.70	2.20	2.70	3.30	4.99

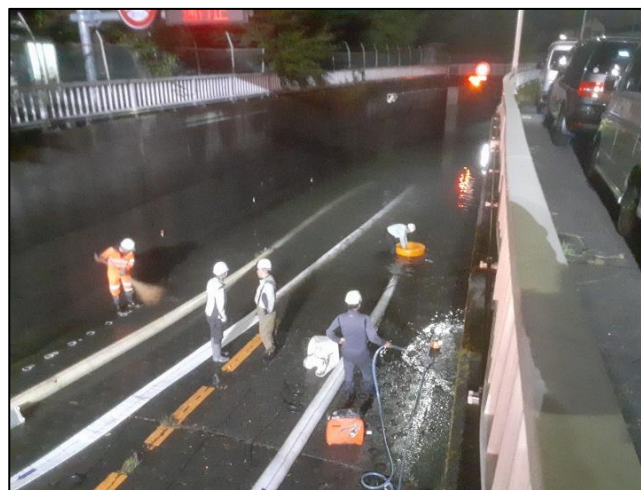
※速報値のため変更される場合があります。

### (3) 市町への支援活動状況 (県道冠水に伴う排水支援)

令和7年9月5日、台風第15号による県道の道路冠水(アンダーパス)の排水作業のため、排水ポンプ車1台、照明車1台、併せてTECパートナー2社、TEC-FORCE隊員2名を派遣しました。



排水作業実施箇所  
(焼津駅西側県道アンダーパス)



アンダーパス冠水状況



ポンプ車・照明車による排水作業状況

#### ○排水支援

(1)期 間:9月5日(金)

(2)場 所:静岡県焼津市栄町地先

(3)班構成:現地支援班(静岡河川事務所)

・TECパートナー 2社

(瀧重機(株)、市川土木(株))

・TEC-FORCE隊員 2名

(4)内 容:排水支援(排水ポンプ車1台、照明車1台))



出発式の状況



排水作業終了状況

### (3) 市町への支援活動状況（牧之原市及び吉田町の電源支援）

令和7年9月5日に静岡県牧之原市、吉田町において突風によると思われるものにより発生した**停電に対する電源支援、及び中部電力の夜間復旧作業支援として照明車及び排水ポンプ車を派遣しました。**



特別養護老人ホームへの電源支援(吉田町内)



排水ポンプ車による電源支援(牧之原市内)



取材状況(牧之原市内)

#### ○吉田町(電源支援)

- (1) 期間: 9月5日(金)～9月7日(日)
- (2) 場所: 特別養護老人ホーム住吉杉の子園  
特別養護老人ホーム片岡杉の子園
- (3) 班構成: 現地支援班(静岡河川事務所)
  - ・TECパートナー 2社(瀧重機土木(株)、丸紅(株))
  - ・TEC-FORCE隊員 3名
- (4) 内容: 電源支援(排水ポンプ車1台、照明車1台)

#### ○牧之原市(電源支援)

- (1) 期間: 9月6日(土)～9月7日(日)
- (2) 場所: 細江コミュニティセンター  
坂部区民センター  
牧之原市役所榛原庁舎
- (3) 班構成: 現地支援班  
(浜松河川国道事務所・静岡河川事務所)
- (4) 内容: 電源支援(排水ポンプ車3台、照明車1台)



照明車を牧之原市での中部電力の夜間復旧作業にも使用しました。

### (3) 市町への支援活動状況 (簡易遠隔操縦装置(ロボQS)を活用した復旧工事)

○令和6年9月19日に発生した静岡県静岡市葵区の山間部を走る林道東俣線における斜面崩壊が発生し、一般の登山者や近隣工事の作業員など少なくとも148人が一時孤立。

○斜面崩壊により林道上に堆積した土砂の撤去作業には、二次災害防止の観点から作業員の安全性を確保しながらの施工が必要となることから、静岡市が中部地方整備局へTEC-FORCEの協力を要請。

○土砂の撤去作業には中部地方整備局が保有している簡易遠隔操縦装置(ロボQS)を取り付けたバックホウを活用することにより、安全かつ迅速に土砂の撤去作業を行うことが可能となり、5日後の令和6年9月24日に通行止めの解除が可能となった。



【参考】新聞記事への掲載



牧之原市、静岡・吉田町に照明車派遣  
中部整備局浜松河川国道事務所、静岡国道事務所は、台風15号で甚大な被害を受け

た静岡県牧之原市や吉田町に、停電の電源支援として照明車や排水ポンプ車を派遣した写真（報道発表資料から）。

派遣先はコミュニティーセンターや健康福祉センター、区民センター、養護老人ホーム、小学校。

台風15号は5日、県内で記録的大雨や突風などの被害をもたらした。牧之原市や吉田町では電柱の倒壊などで停電に見舞われた。

R7.9.9(火)  
建設工業新聞



中部地方整備局静岡河川事務所は、静岡県焼津市の要請を受け、5日にテックフォース（緊急災害対策派遣隊）2人とテックフォースパートナー2社5人、排水ポンプ車1台、照明車1台を派遣した。中部整備局

焼津市で道路の排水支援  
テックフォースとパートナー派遣

中部整備局  
静岡河川

（静岡市葵区、瀧博史社長）、市川土木（静岡市駿河区、市川聡康社長）。

市の排水ポンプ車は5日午後8時06分に作業を開始。午後7時19分から静岡河川事務所のテックフォース隊員とパートナーが排水作業を支援し、午後9時07分に排水を完了した。

排水ホースを設置するテックフォース隊員とパートナー④、照明車を設置するパートナー（静岡河川事務所発表資料から）

R7.9.10(水)  
建設工業新聞

静岡河川

焼津市、吉田町にTEC-FORCE派遣  
冠水した道路の排水など実施

国土交通省静岡河川事務所は5日、台風15号で道路が冠水した焼津市からの要請を受け、排水ポンプ車と照明車を1台ずつ派遣した。併せて、現地での支援活動を行った。TEC-FORCE

（緊急災害対策派遣隊）2人と、中部地方整備局管内では初となるTEC-FORCEパートナー2社（瀧重機、市川土木）を派遣した。

出発式では、現地に赴く2人2社に対し、川嶋

浩二所長が激励の言葉を送った。

対象地は焼津駅北側のアンターバス。同日午後4時45分から冠水した道路の排水作業を実施し、午後8時45分に完了した。写真。



排水作業完了後は、吉田町からの要請を受け、停電が発生した特別養護老人ホーム（住吉杉の子園）（吉田町住吉323

9）に出勤。排水ポンプ車と照明車に搭載した発電機を活用し、停電したホーム内に電気を供給する電源支援を行った。支援は通電復旧が完了した6日午前10時30分まで継続した。

国土交通省静岡国道事務所も、周辺住民が避難した吉田町立自強小学校（吉田町神戸1748ノ2）体育館に携帯電話充電用の電気を供給するため、照明車を1台派遣した。

R7.9.10(水)  
建設通信新聞

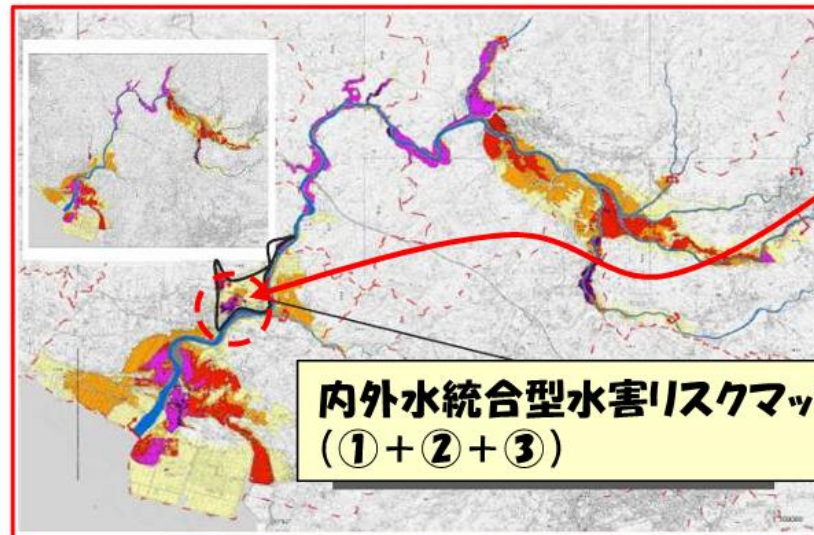
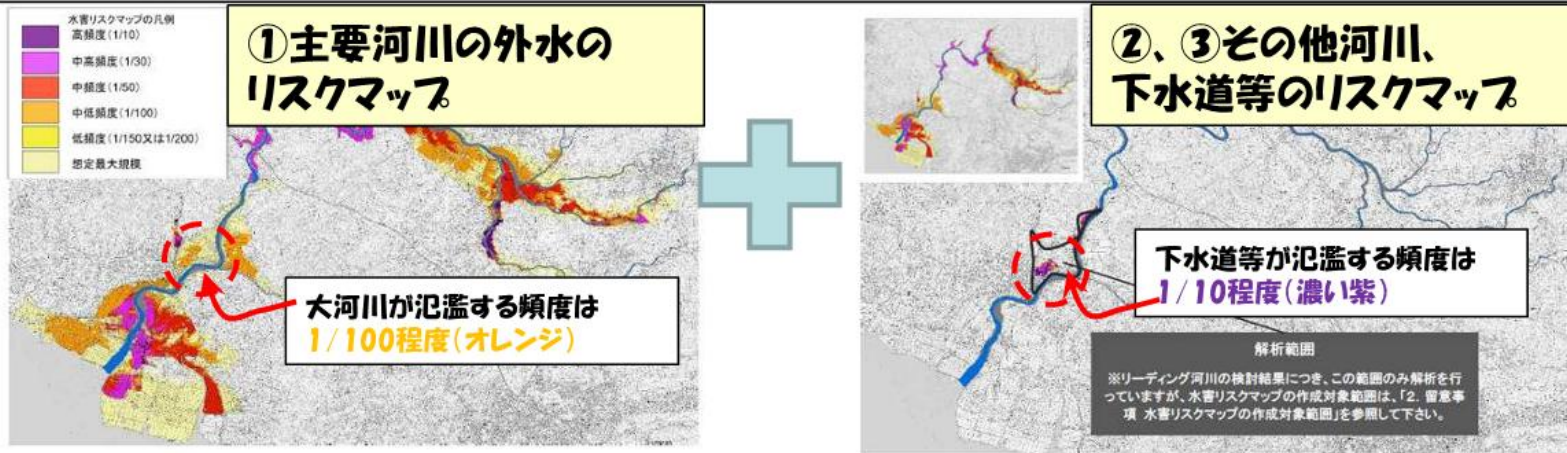
## 2. 内外水統合型水害リスクマップ

# (1) 内外水統合型水害リスクマップ

## 「内外水統合型」の水害リスクマップとは

対象とする河川・下水道毎に最も氾濫時に被害が生じやすい雨を与えてそれぞれの洪水リスクマップを作成し、更に全てのリスクマップを重ねたリスクマップ(以下の①～③のリスクを全て重ねたリスクマップ)のことをいいます。

①主要河川(洪水予報河川、水位周知河川等)、②その他河川、③下水道等(準用河川含む)



外水単独では1/100の頻度の浸  
水リスクとなるが内水を重ねると  
1/10の頻度で浸水するリスクが  
あることが表現できる。

避難行動計画、防災街づくり  
(立地適正化計画 防災指針)  
など流域治水検討のリスクコ  
ミュニケーションツールになる

出典:国土交通省WEBサイト(流  
域治水プロジェクト水害リスクマ  
ップについて)に加筆  
[https://www.mlit.go.jp/river/kasen/ryuiki\\_pro/pdf/risk\\_map.pdf](https://www.mlit.go.jp/river/kasen/ryuiki_pro/pdf/risk_map.pdf)

# (1) 内外水統合型水害リスクマップ

## 「内外水統合型」の水害リスクマップとは

水害リスクマップは下記のように活用可能です。

- ✓ リスクの低いエリアへの誘導・住まい方の工夫: 立地適正化計画 防災指針、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報の提供
- ✓ 避難体制の強化: 適切な避難誘導
- ✓ 経済被害の最小化: 工場や建築物の浸水対策、BCPの策定

流域治水を推進するためには、あらゆる関係者が協働することが重要であり、水害リスクマップはその合意形成、意思決定のための**リスクコミュニケーションツール**となります。

### ① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

**雨水貯留機能の拡大** 集水域  
 [国・市・企業・住民]  
 雨水貯留浸透施設の整備、  
 ため池等の治水利用

**流水の貯留** 河川区域  
 [国・県・市・利水者]  
 治水ダム等の建設・再生、  
 利水ダム等において貯留水を  
 事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]  
 土地利用と一体となった遊水  
 機能の向上

**持続可能な河道の流下能力の  
維持・向上**  
 [国・県・市]  
 河床掘削、引堤、砂防堰堤、  
 雨水排水施設等の整備

**氾濫水を減らす**  
 [国・県]  
 「粘り強い堤防」を目指した  
 堤防強化等

### ② 被害対象を減少させるための対策

**リスクの低いエリアへ誘導/  
住まい方の工夫**  
 [国・市・企業・住民]  
 土地利用規制、誘導、移転促進、  
 不動産取引時の水害リスク情報提供、  
 金融による誘導の検討

**氾濫域**  
**浸水範囲を減らす**  
 [国・県・市]  
 二線堤の整備、  
 自然堤防の保全



### ③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

**土地のリスク情報の充実** 氾濫域  
 [国・県]  
 水害リスク情報の空白地帯解消、  
 多段型水害リスク情報を発信

**避難体制を強化する**  
 [国・県・市]  
 長期予測の技術開発、  
 リアルタイム浸水・決壊把握

**経済被害の最小化**  
 [企業・住民]  
 工場や建築物の浸水対策、  
 BCPの策定  
**住まい方の工夫**  
 [企業・住民]  
 不動産取引時の水害リスク情報  
 提供、金融商品を通じた浸水対  
 策の促進

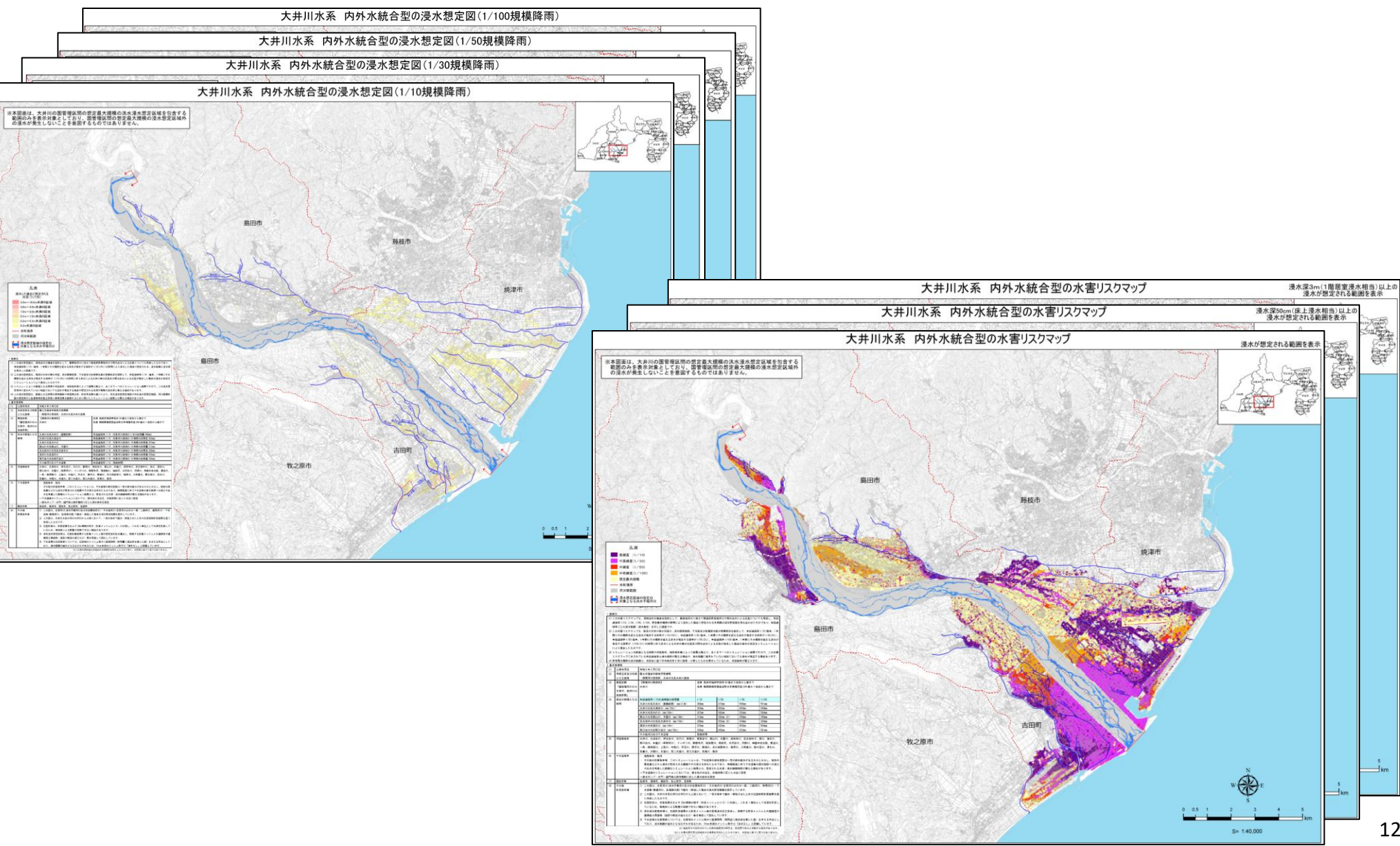
**被災自治体の支援体制充実**  
 [国・企業]  
 官民連携によるTEC-FORCEの  
 体制強化

**氾濫水を早く排除する**  
 [国・県・市等]  
 排水門等の整備、排水強化

出典:「流域治水」の基本的な考え方～気候変動を踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う総合かつ多層的な水災害対策～、国土交通省水管理・国土保全局

## (2) 内外水統合型水害リスクマップの公表について

- (左図) 内外水統合型の多段階浸水想定図：1/10～1/100の各規模毎の内水・外水被害による浸水想定区域を示したものの。
- (右図) 内外水統合型水害リスクマップ：内外水統合型の多段階浸水想定図を重ね合わせて浸水頻度ごとに示したものの。



## 3. 大井川水系流域治水プロジェクト2.0

# (1) 大井川水系流域治水プロジェクト2.0

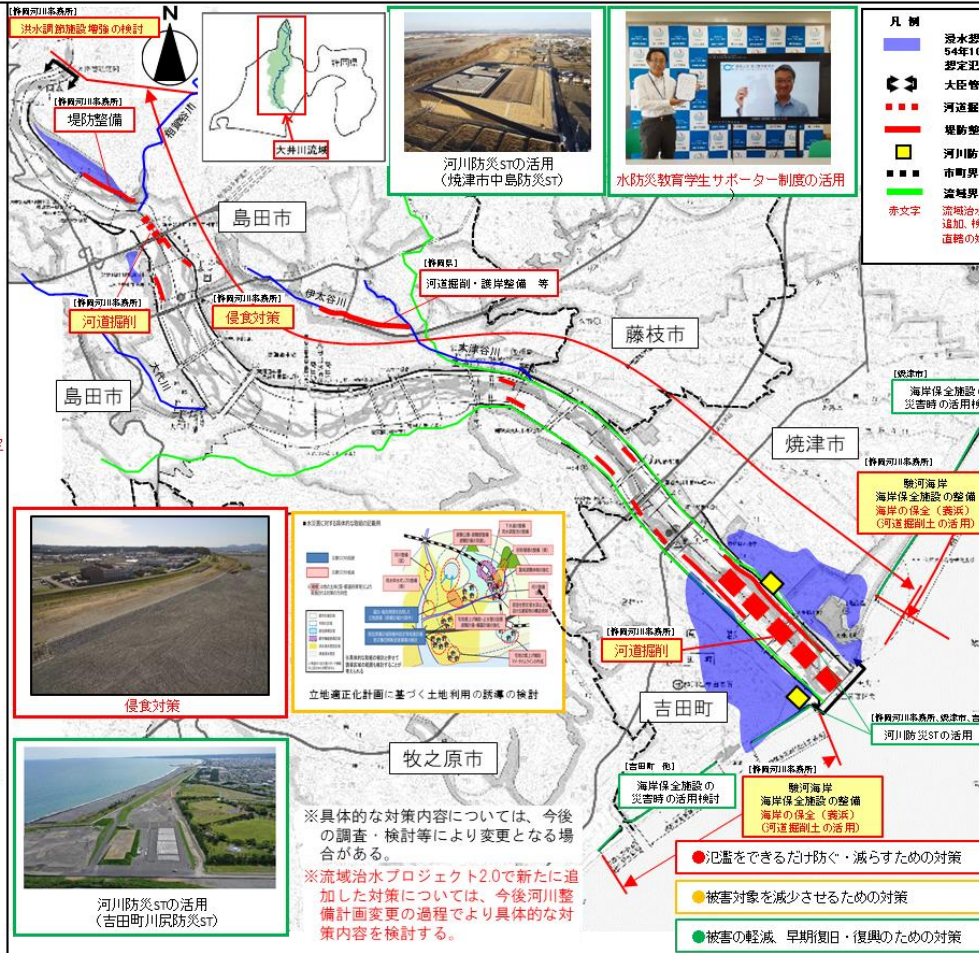
- 気候変動の影響を踏まえて、流域治水の取組の加速化・深化を図るため、全国の1級水系において既往の「流域治水プロジェクト」を『流域治水プロジェクト2.0』へ更新。(令和6年度時点)

## 大井川水系流域治水プロジェクト2.0【位置図】

～利水ダムも協力し洪水氾濫に備える流域治水対策～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、大井川水系においても、事前防災対策を推進することとし、**更に国管理区間においては、気候変動(2℃上昇)下でも目標とする治水安全度を維持するため、現在の河川整備計画において目標としている流量(9,500m<sup>3</sup>/s)に対し、2℃上昇時の降雨量増加(雨量1.1倍)を考慮した規模の流量を安全に流下させることを目指す。**
- 下流部の氾濫域は、風土を生かした紙製産業、水産食料品製造業などが発展している反面、降水量が多く扇状地形のため、大井川が氾濫すれば氾濫流が早い速度で拡散するなど水害リスクが高い地域であることから、河道掘削、侵食対策の**増強**、多自然川づくりの推進、土地利用の誘導の検討、水防災教育の推進などを実施する。

- 【静岡】
  - 河道掘削・護岸整備、砂防施設の整備等
  - 各種ハザードマップの電子媒体化による情報発信の適正化
- 【静岡河川事務所】
  - 河道掘削、侵食対策の増強
  - 堤防整備、護岸整備
  - 海岸保全施設の整備
  - 海岸の保全(養浜)(河道掘削土の活用)
  - 洪水調節施設増強の検討
  - 水防災教育教材等を活用した、小中高等学校等への水防災授業の実施
  - 水防災教育学生サポーター制度の活用
  - 内外水統合の水害リスクマップの見直し
  - 三次元管内図による浸水想定区域の見え易化
- 【長島ダム管理所】
  - ダム貯水池の堆砂掘削の増強
- 【藤枝市】
  - マイ・タイムラインの活用と強化(デジタル化)
  - 防災気象情報の一元化
- 【川根本町】
  - ハザードマップの整備、避難体制の強化
  - 監視カメラの設置
- 【静岡河川事務所、静岡県】
  - マイ・タイムライン作成の推進
  - 水害リスク空白域の解消(想定最大規模の浸水想定区域図作成)
  - 土地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明
- 【静岡河川事務所、静岡県気象台】
  - 洪水予報の予報文及び伝達手法の改善検討
- 【林野庁、静岡県、森林整備センター】
  - 森林の整備・保全、治山事業
  - 地域住民等への山地災害防止及び滅災意識醸成の啓発活動
- 【中部電力、東京電力、長島ダム管理所、静岡県】
  - 利水ダム等15ダムにおける事前放流等の実施
- 【島田市、焼津市、藤枝市、川根本町】
  - 雨水貯留施設設置補助事業等
- 【島田市、焼津市、藤枝市】
  - 立地適正化計画に基づく土地利用の誘導の検討
- 【焼津市、島田市】
  - 立地適正化計画を踏まえた防災指針の周知
  - 立地適正化計画の改定に伴う防災指針の追加・周知
- 【静岡河川事務所、焼津市、吉田町】
  - 河川防災ステーションの活用
- 【静岡河川事務所、静岡県、焼津市、牧之原市】
  - 国・各自治体が所有する排水ポンプ車等を活用した排水訓練等の実施
- 【焼津市、吉田町】
  - 海岸保全施設の災害時の活用検討
- 【静岡地方気象台】
  - 防災気象情報の改善



# (1) 大井川水系流域治水プロジェクト2.0

- 気候変動の影響を踏まえて、流域治水の取組の加速化・深化を図るため、全国の1級水系において既往の「流域治水プロジェクト」を『流域治水プロジェクト2.0』へ更新。(令和6年度時点)

## 大井川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～利水ダムも協力し洪水氾濫に備える流域治水対策～

### ●グリーンインフラの取り組み 『観光名所を活用した魅力ある水辺空間の創出』

- 上流域は豊かな自然環境を有し、中下流部は砂礫河原が形成、河口部はアユを始め回遊性魚類の遡上系となっており、コアジサシの繁殖地や渡り鳥の中継地となっているなど良好で多様な生態系を育むとともに、地域住民に憩いと安らぎを与える場となっている。
- 観光名所である蓬萊橋・川越し遺跡を中心とした宝来地区の賑わい創出にむけ、今後概ね7年間(令和10年度)までに人と河川との豊かなふれあいの増進をはかるなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



大井川らしさを代表する砂礫河原

## (2) 主な取り組みについて

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### □ 自治体の水防訓練に参加

- 島田市及び藤枝市の水防訓練に静岡河川事務所から災害対策車両（排水ポンプ車、照明車）を派遣し、TEC-FORCEの取組について説明を行った。



水防訓練での災害対策車両の説明状況（左：島田市、右：焼津市）

### □ 静岡県・焼津市・藤枝市総合防災訓練に参加

- 静岡県・焼津市・藤枝市総合防災訓練に静岡河川事務所から災害対策車両（排水ポンプ車、照明車）を派遣し、TEC-FORCEの取組について説明を行った。



総合防災訓練での災害対策車両の説明状況（左：焼津市、右：藤枝市）

令和8年度以降の取組

引き続き、水防訓練や防災訓練に参加し、災害対策車両やTEC-FORCEについて積極的に紹介していく。

### □ 重要水防箇所合同点検の実施

- 流域の水防団・消防団及び関係行政機関と合同で重要水防箇所の点検を6月に実施。  
＜参加機関＞  
静岡県中部地域局、島田市、焼津市、藤枝市、吉田町、静岡地方气象台、静岡河川事務所（約30名）



重要水防箇所の一覧は、静岡河川事務所HPで確認できます。  
(<https://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/bousai/suibou/>)



令和8年度以降の取組

出水期前に重要水防箇所を確認し水害リスク等を共有することで、迅速な防災体制の確保に努めて参ります。